

7階

近代現代 「大大阪の時代」

産業が発展し、大都市となった昭和初期の大阪は「大大阪」と呼ばれました。フロアでは、その頃の街角を原寸大で復元しています。地下鉄、心斎橋筋の商店街、郊外住宅などを取り上げています。写真の公設市場では、鮮魚店と青果店の店頭をリアルに再現しています。



公設市場の鮮魚店▶



▲大大阪の時代

特別展「妖怪－怪異をめぐる世界展－」、特集展示「発掘された難波京」「壺井八幡宮の社宝」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に鑑み、開催を中止いたします。また、開館時間を変更する場合があります。

INFORMATION

大阪歴史博物館

〒540-0008
大阪市中央区大手前4-1-32

TEL:06-6946-5728

FAX:06-6946-2662

<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>



休館日

火曜日（祝日の場合は翌日、8/11は臨時開館）、
年末年始（12/28～1/4）

開館時間

9:30～17:00（特別展会期中の金曜日は20時まで）
ただし、入館は閉館の30分前まで

観覧料

【常設展】大人600円（540円）、高大生400円（360円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※中学生以下、大阪市内在住の満65歳以上の方（要証明提示）、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料

アクセス

- ・大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅
②号・⑨号出口
- ・シティバス「馬場町」バス停前



大阪市立
自然史博物館

「貝千種」 全四巻 1914(大正3)年

日本で初めて貝類専門の博物館を京都に開設した平瀬與一郎（ひらせ・よいちろう）が発刊した貝類図鑑です。平瀬は貝類学を世に広めたいと考え、一般向けの図鑑の刊行を思い立ちます。フルカラーで大量に印刷する方法として、平瀬が選んだのは浮世絵と同じ伝統的な多色木版刷りでした。美術工芸品としての完成度を意識しつつ、それぞれの貝が持つ形態的な特徴の描写にこだわった本書は、当時の欧米の研究者にも高く評価されました。日本の近代的な図鑑の中でも、ひととき異彩を放つ「作品」と言えます。

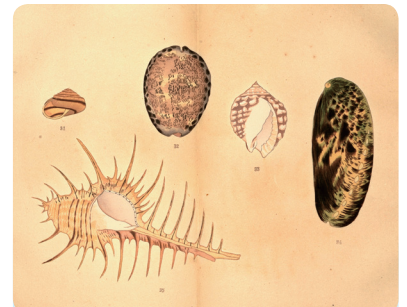
大阪市立自然史博物館・主任学芸員 石田 惣

※今回紹介した資料は、大阪市立自然史博物館本館1階ナウマンホールで8月30日(日)まで展示しています。資料保護のため展示で開くページを会期中に適宜変えます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、中止・延期・変更となる可能性があります。ご来館の際は事前にHP等でご確認ください。

住所 〒546-0034大阪市東住吉区長居公園1-23 TEL 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225

ホームページ <http://www.mus-nh.city.osaka.jp> アクセス ●大阪メトロ御堂筋線「長居」3号出口・東へ約800m ●JR阪和線「長居」東出口・東へ約1000m



貝千種（かいちくさ）
大山桂貝類学文庫より
（鳥羽水族館蔵・大阪市立自然史博物館寄託）

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館準備室
- 大阪くらしの今昔館